

## イベント・行事

### 仲間との絆を深める、 思い出の「林大生」生活の1ページ。

4月	1年生 屋久島研修
6月	2年生 国内(北海道)研修
6月	ハスクバーナトップガン研修Ⅰ
7月	1年生 御嶽登山(体験研修)
7月	水無神社例大祭(みこしまくり)
7月	オープンキャンパス
8月	オープンキャンパス
10月	寮祭(木望祭)
10月	木曾町駅伝大会
10月	ハスクバーナトップガン研修Ⅱ
11月	三林大対抗伐木選手権大会
2月	雪灯りの散歩路

(令和8年度計画)



2年生 国内研修(北海道:パイロットフォレスト)



1年生 屋久島研修



2年生 山の環境学(上高地)



ハスクバーナトップガン研修

## 寮生活・クラブ活動

### 大自然と、そしてかけがえのない仲間達と 24時間を共にする充実の2年間。 「林業大学校に来て良かった」と 卒業生が口を揃えるのは、「楽しい寮生活」!!

本校では、学生全員が入寮し、自主的運営による共同生活体験を通じて、有能な社会人となるための人間形成を図ります。また、地域・地元のイベントにも積極的に参加しています。



スキー教室



三林大対抗伐木選手権大会



雪灯りの散歩路



木曾こども園との交流

### 他校との交流事業

岐阜県立森林文化アカデミー、京都府立林業大学校及び信州大学と協定を締結し、交流を図っています。

## メッセージ

### 林業大学校での生活



令和8年度 2年生  
鈴木 颯真  
(47期生)

私が長野県林業大学校を選んだのは、人間生活に欠かすことのできない森林を守る専門的な知識や技術をしっかり学びたいと思ったからです。

入学当初は「授業についていけるかな、チェーンソーや建設機械などの重機を使いこなせるかな」と不安もありましたが、先生方が丁寧に教えてくれるので安心して打ち込めています。同じ目標を持つ仲間と声を掛け合い、自然豊かな場所で行う実習は毎日が新鮮です。全寮制の生活でも、全国から集まった仲間と寝食を共にしながら、一歩ずつ未来への階段を登っている実感があります。

また、ここを選んで本当に良かったと感じるのが、卒業後の進路の幅広さです。長野県内外の林業事業者や造園会社、木材加工メーカーへの就職はもちろん、公務員（林業職）を目指す道や、さらに学びを深めるための大学進学など、卒業生の進む先は本当に多彩です。先生方も一人一人のやりたいことに寄り添い、親身に進路相談に乗ってくれます。

長野県林業大学校は、同じ目標を持つ仲間に出会えて、未来への選択肢が広がる場所です。残りの学生生活も大切に過ごし、将来は長野県の豊かな森林を支えられるようになりたいです。

### 思いを自信へ



令和4年度 卒業生  
神農 千愛  
(有)矢守産業)

林業の道に進もう。そう決意したのは高校1年生の頃でした。普通科に進み、進路を決めあぐねている中で見た大径木の伐倒。大きなチェーンソーで素早く、そして正確に刃を入れて自分の思い通りの方向へ倒していく。林業を知らずに生きてきた私にとって、初めての衝撃、そして憧れを抱いた瞬間です。自分もこうなりたい。その思いで長野県林業大学校（林大）へ入学しました。

林大では専門知識や技術だけでなく、全寮制を通して協調性や自主性を学びます。私は今現場作業員として働いていますが、無駄だと思ったことはひとつもありません。調査の時や作業中だけでも、立木の状態を確認したり、伐倒造材を行う際に測量学や

樹木学、木材や治山などの知識が役立っています。

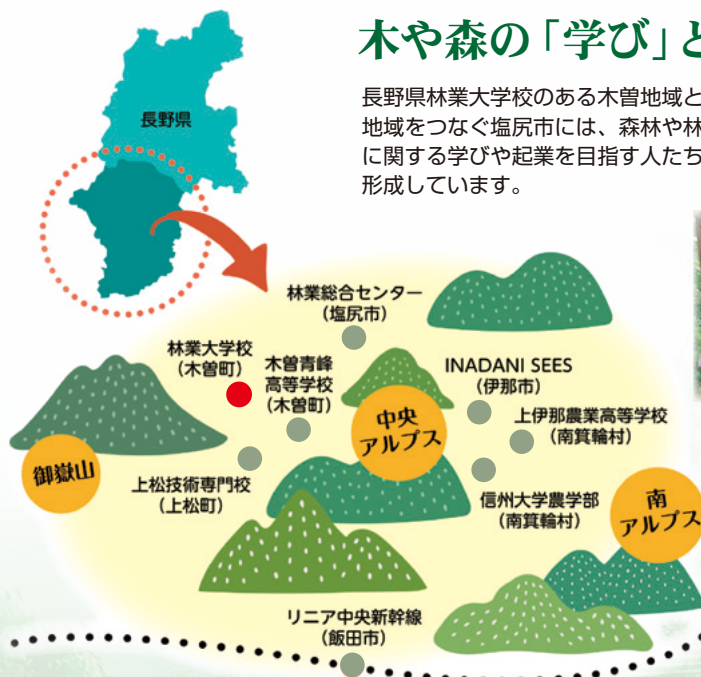
また、どのような職種に就いても、自分の意見を言うことや危険を察知することは非常に大切です。林大ではトップガン研修などを通して安全意識と基礎的な技術を身につけていきます。何が危険かを理解し、就職する前に心置きなく練習できることも大きな魅力です。

あっという間の2年間。寮生活で距離が物理的に近くなって過ごした仲間とは今でも交流が続いています。先生方にはあれやりたい、これやりたいとたくさんわがままに付き合ってくださいました。林大では幅広く学ぶ分、幅広い選択肢が生まれます。やりたいという思いを自信に繋げませんか？

## 木曽谷・伊那谷フォレストバレー

### 木や森の「学び」と「暮らし」に会える場所

長野県林業大学校のある木曽地域と、中央アルプスを挟んで隣接する上伊那地域・南信州地域、そして両地域をつなぐ塩尻市には、森林や林業に関する教育機関や試験研究機関が集積していることから、木や森に関する学びや起業を目指す人たちが全国から多く集い、緩やかにつながりつつ、多様なコミュニティを形成しています。



長野県林業総合センター



信州大学農学部



長野県上松技術専門学校



INADANI SEES

長野県では、このエリアを「木曽谷・伊那谷フォレストバレー」として、関係機関の連携による質の高い学びと交流の機会の提供を通じ、新たな時代を支える人材の育成とイノベーションの創出を目指しています。